

代表者	

安全教育・事故処理訓練 実施記録

教育・訓練の内容	事故処理訓練 ○○海域において、船舶との衝突事故を想定した連絡訓練
実施日時	○年○月○日
実施場所	本社営業所 ○○丸
参加者	安全統括管理者 ●● ●● 運航管理者 ●● ●● 船長 ●● ●● 甲板員 ●● ●● 機関長 ●● ●●
実施結果	安全管理規程（事故処理基準）に基づく非常連絡表を活用し、衛星携帯電話等を活用し、非常連絡事項の連絡訓練を実施。
所見欄	通信環境は良好。 非常連絡表の運航管理者●● ●●の連絡先が古い情報のままだったので、新しい情報に更新を行った。 今後は、定期的に確認を行い常に最新の状態を維持する。

代表者	

安全教育・事故処理訓練 実施記録

教育・訓練の内容	安全教育 安全管理規程の内容確認
実施日時	○年○月○日
実施場所	本社営業所
参加者	安全統括管理者 ●● ●● 運航管理者 ●● ●● 運航管理補助者 ●● ●● 船長 ●● ●● 甲板員 ●● ●●
実施結果	参加者全員で、安全管理規程の確認を行い、お互いの理解度の確認を行った。
所見欄	船長●● ●●からは、作業基準の再確認ができた良かったとの感想。 運航管理補助者●● ●●（本年4月に補助者選任）が、運航中止基準（風速）の認識が誤っていたので、再度教育を行った。

安全教育の実施

定期的に、乗組員や陸上連絡員に対し、安全管理規程に基づく教育を実施する。

乗組員に対し、航路の状況等（危険個所の確認）について隨時周知を行う。

実施した際は、日付、教育内容を記録する。

外部の講習に参加した際も記録する。（その際は非参加者へ周知を行う）

訓練の実施

年に1回以上、事故や災害を想定した訓練を実施する。

実施した際は、日付、訓練内容などを記録する。

(例)

- ・ 運航中、トラブル発生時の対応訓練（優先的に実施すべきこと、連絡体制の確認など）
※ 機関故障、浸水、防波堤衝突、急病人発生など
- ・ 地震、津波発生時の対応訓練（避難経路の確認など）